



2017年10月15日  
No.38

日本共産党岡山市議団  
岡山市北区大供 1-1-1  
tel 086-803-1707  
fax 086-234-9388

林じゅん



## 市立幼稚園の 廃止・民営化は再考を

市は「手狭になった高島小学校の環境を良くしてほしい」という保護者・地域の願いに乗じて、高島幼稚園の廃止を進めようとしています。

122ある市立の保育園と幼稚園を30の市立こども園に集約し、大半の公立園を廃止や民営化する方針の高島学区での具体化です。



旭竜幼稚園も、高島保育園の認定こども園化に合わせて、廃止されようとしています

市は、高島幼稚園について  
岡山市の放課後児童クラブ（学童保育）は、地域運営委員会方式で運営されています。地域に根ざした運営ができる特長とともに、非常勤のボランティアに子ども達の安全や支援員の雇用を任せ、大きなお金を動かす責任を持たせる大変さがあります。

地域によって保護者負担、開所時間、保育内容がばらばらなのは、岡山市の子ども達の権利保障の点からも、保護者への子育て支援の点からも問題です。  
市は、地域差を無くす運営の平準化を目指して、平成31年度から運営事務局（仮称）

が放課後児童クラブを運営する体制に変更するスケジュールを示しています。  
しかし多様なクラブの運営を一度に変更するのは体制、ノウハウの面から困難で、スケジュール通りには進んでいません。  
私は、運営を担う人材育成にもなる部分的なモデル試行を提案しました。これまで一斉移行に拘っていた市も、検討する姿勢を示しました。

## 学童保育の平準化めざし “モデル試行”を提案

「耐震化したら10年は移転できず、高島小学校の敷地が狭いままになるのではないか」という疑念を地域に抱かせて、

移転と抱き合わせて民営化の決定を押し付けました。  
私は、8月議会で「最速で平成31年度から民間の認定こども園にする、というスケジュールは何も知らされず今年度に入園した年少児を考えると乱暴ではありませんか。ご所見を」と質問しました。  
市は、耐震化や地域に投げ

た意思決定のことばかりを述べて、在園する子どもたちへの配慮を示しませんでした。  
結局、小学校の増築工事の影響で、高島幼稚園の廃止、民間の認定こども園の開設は平成32年度以降になります。「高島幼稚園を耐震化したら当分の間は移転できない」としていた説明も変わっています。  
スケジュール、条件が変わってきているので地域の声を聴きなおして、公立幼稚園のままでの移転を市が検討すべきだと求めています。

## 自民が議長“信任”決議



宮武博議長は、自らを含めて議会で決めたルールを守らないために不信任決議と議長辞職勧告決議を突き付けられました。にもかかわらず居座っています。  
そこへ自民党岡山市議団から「信任決議案」が出されました。  
私は、日本共産党岡山市議団を代表して、岡山市議会に例のない信任決議をあげる理由

はなにか、と質疑しました。  
自民党岡山市議団は、市民が抱いた議会への不信任も、自民党内にも不信任や辞職勧告の決議に賛成した議員がいたことも顧みず、多数決で信任決議を通しました。反対したのは日本共産党岡山市議団だけでした。  
引き続き、筋の通る議会運営を求めています。